

2023年度

科目名称	作業療法評価学
授業コード	AE264
英語名称	Clinical Assessment in Occupational Therapy
学期	2023年度後期
単位	1.0
担当教員	石井 孝弘 (医療科学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	作業療法の対象としての発達障害分野の評価方法について学ぶ。自閉症スペクトラム障害、注意欠如多動性障害、学習障害については、主に感覚統合理論に基づいた評価方法について学ぶ機会を提供する。その他の小児期における各種疾患についての評価方法について基本的なものについて学ぶ。
科目に関連する実務経験と授業への活用	「実務経験のある教員による実践的科目」 地域における発達障害児支援、放課後とデイサービスへの支援等に作業療法士としてかかわってきた経験を有する教員による科目
到達目標	カリキュラムポリシーに掲げる「基礎作業療法学や評価学、治療学、管理学などから、作業療法の実践を学ぶ」これらの基本的な知識を身につける。 1. 子どもの作業療法で用いる標準化された検査方法について、その概要を説明することができる。概要とは適応障害、適応年齢、評価の領域、評価基準、結果の解釈方法である。 2. 子どもの作業療法で用いる標準化された検査以外の方法について、説明することができる。直接の指導の下では実際に検査を実施することができるために必要な知識技術を習得する。 1. 子どもの作業療法の対象となる障がい分野の代表的疾患障害について評価を行うことができる。 研究者倫理に関する規範意識として、研究者の行動規範、遵守すべきことなど理解した上で研究に取り組むことができる。
計画・内容	予習 作業療法評価の概要 1作業療法評価の概要：情報収集から問題の選択まで 復習：予習 作業療法評価の概要：情報収集から問題の選択 手指動作 2手指動作 復習：予習 手指動作 反射反応 3反射反応 復習：予習 反射反応 遠城寺発達検査 4遠城寺発達検査 復習：予習遠城寺発達検査 デンバー式発達スクリーニング検査 5デンバー式発達スクリーニング検査 復習：予習 デンバー式発達スクリーニング検査 PEDI 6PEDI 復習：予習 PEDI GMFC 7GMFC 復習：予習 GMFC GMFCS 8GMFCS 復習：予習 GMFCS ABC 9K-ABC 復習：予習 ABC WeeFIM 10WeeFIM 復習：予習 WeeFIM MACS 11MACS 復習：予習 MACS WISC 12WISC 復習：予習 WISC DAM

2023年度

計画・内容	<p>13DAM 復習：予習 DAM JASPER 14その他JASPER 復習：予習 JASPER これまでの学習内容 15評価のまとめ 復習：授業内容全体について</p>
授業の進め方	<p>1. 各テーマごとの講義および動画を用いる。 2. 毎授業ごとに課題を提示する。 3. ディスカッションを行う</p>
能動的な学びの実施	<p>問題解決学習： 具体的な障害について適切な評価方法を選択することができる実践力を身につける。 課題を提示し学生によるディスカッションを行うことで回答する機会を設ける</p>
授業時間外の学修	<p>授業前の予習は、教科書、参考書等の該当箇所を読み、不明な点をまとめておく。 授業後の復習は、教科書、参考書、プリントと授業内容を関連付けて自分の講義ノートを整理すること。 （合計15時間程度）</p>
教科書・参考書	<p>参考書：奈良 勲 / 鎌倉 矩子 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 小児科学 第5版 医学書院 2018 参考書：田村 良子 作業療法学全書 改訂第3版 第6巻 作業治療学3 発達障害 協同遺書 2010 教科書：真野行生 監訳 「理学療法・作業療法のための神経生理学プログラム演習2：運動発達と反射 反射検査の手技と評価」 医歯薬出版 1983</p>
成績評価方法と基準	<p>最終回に課題を提示してレポートとして提出する80%、 授業時間中に提示する課題20%</p>
課題等に対するフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の質問については即時回答する。 ・授業中に提示した課題については、次の授業でフィードバックする。
オフィスアワー	<p>「CampusSquareを参照」</p>
留意事項	<p>必修科目。 授業中の質疑応答には積極的姿勢で臨むことを期待する。 特に配布資料、板書、さらに教員が話した内容の要点をノートに取ることなどが重要である。 授業中の質疑応答には積極的姿勢で臨むことを期待する。 ノートを必ず取ること。</p> <p>子どもの作業療法基礎、子どもの作業療法応用における基礎地域の習得。及び対象児の障害の評価の基礎としての科目である</p>
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>1. 各テーマごとの非対面型の講義はオンタイムもしくはオンデマンドにて動画配信する。 2. 最終回に課題を提示してレポートとして提出する80%、 授業時間中に提示する課題20%</p>